

「もしも手帳」を活用して、いつまでも自分らしい人生を！ ～「ほけんの窓口グループ株式会社」との連携、「救急あんしんカード」との一体的配布～

もしも病気やケガ等で医療やケアが必要になったときに、自分で意思を伝えられなくなったら…。そのような“もしも”のときに備え、あなたが大切にしたいことや、どのような医療やケアを望むのかを考え、家族や信頼する人達と話し合い、思いを共有することを、「人生会議」といいます。思いを共有しておくことで、望む医療やケアを受けられる可能性が高くなり、自分らしく豊かな人生を過ごせることにつながります。

横浜市は、医療やケアについての「もしも手帳」等を活用しながら、その大切さを市民に啓発していますが、令和5年度に実施したアンケート調査では、もしものときの医療やケアについて考えたことのある市民は約5割に留まっています。一方で「もしも手帳」を知っている市民は、7割以上が“もしものこと”を考えたことがあり、「もしも手帳」が「人生会議」のきっかけとして効果があることがわかりました。

このたび、全国的にも稀有な取り組みとして、新たに企業と連携するなど、より一層「もしも手帳」を活用した「人生会議」の普及啓発に取り組みます。



1 ほけんの窓口グループ株式会社と連携協定書を締結

もしものときの医療やケアについて「話し合ったことがない」ことに関する最も多い理由は、「きっかけがなかった」からです。生命保険や医療保険等への加入や継続の検討時は、もしものときのことを考えるタイミングでもあるため、「もしも手帳」の普及啓発を行う最適な機会です。

ほけんの窓口グループ株式会社と連携することで、この「もしも手帳」の普及啓発を行う絶好のタイミングを捉え、普及啓発を強化したい高齢者層に加え、本企業の主な顧客層である20代～50代への啓発を進めていきます。

(1) 協定概要

協定締結日：令和6年6月1日

協定締結先：ほけんの窓口グループ株式会社（代表取締役社長：猪俣 礼治）

取組内容：

- ア 「ほけんの窓口」市内直営10店舗での普及啓発
 - 内容：お客様への接客時に「もしも手帳」の配布及び案内
 - 開始日：令和6年8月中旬～
※準備が整った店舗から順次開始します
- イ 横浜市医療局主催の市民向け講演会等への講師派遣
 - 内容：ほけんの窓口グループ株式会社からライフデザインに関する講師派遣
 - 実施日：令和7年3月予定



横浜市 大久保副市長【中央】
ほけんの窓口グループ(株)
猪俣代表取締役社長【右から2番目】
ほか皆様

(2) 協定締結企業

企業名 : ほけんの窓口グループ株式会社
 本社所在地 : 東京都千代田区丸の内 1-8-2
 鉄鋼ビルディング 20F
 代表者 : 代表取締役社長 猪俣 礼治
 設立 : 1995年4月
 事業内容 : 保険代理店(生命保険・損害保険)、
 保険ショップ「ほけんの窓口」の運営、
 パートナー店・提携店の運営サポート、
 金融商品仲介業



市内直営店:

マルイシティ横浜店	横浜ジョイナス店	トレッサ横浜店
綱島駅前店	港北ノースポートモール店	モザイクモール港北店
青葉台駅前店	サクラス戸塚店	
東戸塚オーロラモール5F店	東戸塚オーロラモール7F店	

(コーポレートサイト <https://www.hokennomadoguchi.co.jp/>)

2 「もしも手帳」と「救急あんしんカード」との一体的な配布

令和6年10月から、「もしも手帳」のカバーの中に「救急あんしんカード※1」（消防局作成）も挟み込み、消防局と連携して「もしも手帳」を配布します。

「救急あんしんカード」にある、具合が悪くなった時のことや緊急連絡先の記載等と合わせて「もしも手帳」を活用することで、ご本人が望む対応や適切な医療の提供につながることが期待されます。また、地域における予防救急や防災の啓発イベント、講演会、講習会など、消防局を通じた新たなルートで「もしも手帳」を配布することで、「もしも手帳」の普及啓発を強化します。



横浜市消防局マスコットキャラクター ハマくん

※1 「救急あんしんカード」とは、病気やケガをしたときの緊急連絡先やかかりつけ医等を記載し、どのように行動するべきかをまとめたカードです。救急要請時に救急隊が確認することで、適切な医療機関への搬送や迅速な応急処置に役立てます。

救急あんしんカード

かな
氏名

(年 月 日記入)

緊急連絡先①
かな
氏名
関係
電話
自宅: ()
携帯: ()

緊急連絡先②
かな
氏名
関係
電話
自宅: ()
携帯: ()

かかりつけ医・薬局
医療機関名
診療科/医師名
電話 ()
薬局名

※連絡先は救急車を呼んだ時、救急隊員等が日ごろのようすや病歴などを聞くために使います。

表面

救急あんしんカード

体調がすぐれない・具合が悪いときは
ご家族、かかりつけ医や訪問看護師など日ごろから相談できる方に連絡しましょう。

事業所名
担当者
電話番号 ()

救急車を呼ぶか迷ったときは
●救急安心センター事業を利用しましょう。
電話番号: #7119
●救急受診ガイドを利用しましょう。
救急受診ガイド 検索

救急車を呼ぶときは
電話番号: 119
●救急車が到着するまでに準備しましょう。
診察券 マイナンバーカード お薬手帳 (健康保険証)
お金 靴 など
日ごろからまとめておきましょう

横浜市消防局
YOKOHAMA FIRE BUREAU

裏面

【参考】「もしも手帳」概要

“もしも”治らない病気になったら。“もしも”自分の気持ちを伝えられなくなったら。“もしも手帳”はそんな“もしも”のときのために、簡単な3つの質問に答えることで、どのような医療やケアを望んでいるかを伝えられる手帳です。お薬手帳や診察券を入れることができるカバーに入れ、配布しています。

3つの質問

- ・どんな治療やケアを受けたいか
- ・自分で決められなくなったら、代わりに誰に話し合っほしいか
- ・どこで過ごしたいか



救急あんしんカード

診察券

保険証

おくすり手帳

もしも手帳

1 配布場所

区役所高齢・障害支援課、
地域ケアプラザ、在宅医療連携拠点、
一部の薬局・病院・診療所、市内の「ほけんの窓口」直営店（8月中旬～）等

2 「もしも手帳」第2版の発行

・第2版のポイント

- ① 3つの質問へ答える前に、自身の価値観を改めて考えることができるよう、「あなたの大切にしていること」の記入欄を新設しました。
- ② 3つの質問の2問目「自分で決められなくなった際に、代わりに話し合っほしい人」の記入欄を大きくし、より書きやすくなりました。

・配布開始日

令和6年10月1日～

※各配布場所の初版在庫がなくなり次第、順次切り替わります

あなたの大切にしていること
(生きがい、楽しみ等)

① “もしも”治らない病気などになり、自分の気持ちを伝えられなくなったら、どんな治療やケアを受けて過ごしたいですか？

できるだけ長く生きるための治療を受けたい

痛みやつらさを軽減する治療やケアのみしてほしい

すべての治療やケアを受けたくない

わからない

その他

② “もしも”治療やケアについて、自分で決められなくなったら、代わりに誰に話し合っほしいですか？（複数可）

配偶者（夫・妻）

子ども・親族

友人・知人

その他（かかりつけ医・ケアマネジャー等）

頼める人はいない

続柄： []

[]内には名前や連絡先を書いてみてください。

③ “もしも”治らない病気などになったら、どこで過ごしたいですか？（複数可）

自宅

病院

施設

今はわからない

その他、自由に

氏名 []

書いた日 年 月 日

話し合った日 年 月 日

話し合った人 []

気持ちが変わったら何度でも書き直してみてください。

もしも手帳第2版 中面

お問合せ先

【1～2に関する問合せ先】

医療局地域医療課在宅医療連携担当課長 石川 裕 Tel 045-671-3609

【2（救急あんしんカード等）に関する問合せ先】

消防局救急企画課長 谷津 直樹 Tel 045-312-0119

【ほけんの窓口グループ株式会社等のサービス等に関する問合せ先】

ほけんの窓口グループ株式会社 東戸塚オーロラモール5F店
横浜ブロック シニアブロック長 伊藤 峻 Tel 045-828-2010